

ぴっと・いん



秘伝スープか、
真っ赤なスープか迷って！
ラーメン「辛屋」

昨年末、大蔵谷インター前にとかとオープンしたラーメン「辛屋」。この店の二本柱は、18年間ラーメンを作り続ける店主・金武博さんが探求し続けてきた秘伝のスープを使ったとんこつラーメン、そして奥さまの実家に代々受け継がれ



賑やかな看板が目じるし。大蔵谷インター下りですぐ

てきた辛いソーメン「真っ赤なソーメン」。韓国独特の辛い中にもコクがある真っ赤なスープに、野菜とソーメンが入っている。日本に来てお友達にふるまったところ、とても好評だったため、このたび店のメニューに仲間入り。ここでしか食べられない味だ。他にもすじ肉と野菜が入った身体に良い「すじラーメン」、人気のぎょうざ(250円)、石焼きビビンバ(850円)、チヂミなど、韓国の家庭料理も。細打ちの自家製麺も自慢のひとつ。

店内は、ゆっくりと広いオープンキッチンとテーブル席、カウンターがあり、木のぬくもりが感じられて、ラーメン店といえど落ち着いた感じで食事ができるのが嬉しい。



味ま。奥さま。と博さんと金武博さん。奥さまと博さんの足が第一と、明るい笑顔

■ラーメン「辛屋」
神戸市西区伊川谷有瀬639-18
TEL 078-974-3623
11:30~翌1:00 無休

樽出しのタブロース
ウイスキーが飲める
バー「ANSARO」

こういう神戸らしいBARに出会うとほっとする。

北野坂の第一ホテルの前を入ったところにある「ANSARO」。ドアを開けると、カウンターに、白いシャツと黒い蝶ネクタイの小柴伸介さんがニコリ出迎えてくれる。姉上の小柴千枝さんが北野坂で「さんさろ」を。ここで10年、そして独立して16年めというベテランパーテナーだ。



カクテルを前にダンディな小柴さんとのお話も楽しい

フランス積みの煉瓦にスコッチがずらり。タブロースウイスキーの樽出しが飲める(800円)。小柴さんのフルティーンなカクテルには定評がある。中でもフローズンフルーツカクテルは、巨峰とラム酒、ミニバラの赤が愛らしく機嫌。10月5月に登場するテールスープ(1000円)が実においしい。ビールは800円(小)、チャージ1000円。

「人生どっちがわに行こうと思案する三叉路で、酒を傾けて考えませんか」とダンディな小柴さん。神戸の粋な常連客に出会える店でもある。

■バー「ANSARO」
神戸市中央区中山手通1-16-12
TEL 078-333-8063
18:30~翌2:00
日曜・祭日休

使い方はわたし次第の
新しい空間
カフェ「プラネット」

県庁前を東へ、生田新道を歩くと、温室のようにガラス張りのカフェ&サロン「プラネット」がある。室内は天井が高く、すてきな空間と明るさがある。オーナーの千寿慧さんは、この店にピッタリである。スタッフも若くて美しく、きびきびした動作は気持ちが良い。それもそのはずで、千寿さんは宝塚歌劇団OG。8月にお店をオープンするまで



オーナーの千寿慧さん(中央)をはじめ、明るく気さくなスタッフ、シェフのみなさん

は、司会業やシャンソン歌手の道を歩んでいた。当然今後はその経験を生かしてお店を運営。すでに昨年のクリスマスには、ミュージカル、ロマンティックショーの企画で本人の持ち味を十二分に発揮して年の瀬を迎えた。

最近、中2階にカラオケルームを新設。10名程度のグループの利用が急増して新戦力になっている。強みは、お客様とのデュエット。歌った人に必ず満足感を与えることだろう。

これからのお店は、若い人にも、高齢層にも合った店でないとしき残ることがだんだん難しくなってきた。その点は、この「プラネット」は宮本武蔵の二刀流である。

県庁に近いのは、千寿さんの父上が、もと県の関係者とか(彼女の本名は一ノ瀬香子さん)。本人も神戸出身とあれば、前途に明るい因縁を感じさせるお店です。(文責/大崎泰三)

★今年から「プラネット」では20時以降(土・日・祝日は19時以降)は予約制になります。予約がなければ閉めてしまうので、お電話1本入れれば1名様でも営業。ランチの五穀米を使った和食セットはおすすめ。ボックスのケーキ(350円)など、こだわりのランチ、ディナーメニューがそろっています。

■カフェ&サロン

「Planets」

神戸市中央区下山手通4-6-11

エクセル山手1F

TEL 078-3332-1034

11:30~23:00(土・日・祝日11:00~23:00)無休

美人ママの手造り魚料理

「一心」

新鮮な明石の魚を中心に扱う「一心」。

その日仕入れた季節の魚

はその日仕入れた季節の魚



▲手際よく出される料理に目を奪われる
▲個室もあり

による。「みなさんが食事を通して楽しんでいただければ、空間を大事にしたい」とママの想い。〝人ごとごとく楽しむ〟が、この店のテーマ。コース予約は3500円から。地酒、焼酎とお酒の種類も豊富に取り揃えられている。固い雰囲気はなく、どことなく家庭的な温かい空気に、席に座ると包まれる。

■魚菜「一心」

明石市野々上3-13-17

TEL 078-923-8817

17:00~24:00

水曜休

◀店先のグリーンが心地良い

▼一見そうは見えない!こちらがカラオケルーム。ゆっくりにける



ポケットジャーナル



★上原まりの

「平家」「源氏」がCDに

筑前琵琶奏者の上原まりが、「平家物語」(2枚組、税抜き3600円)と「源氏物語」(同)のCDを出した。「平家物語」は「祇王」「小督」「小宰相」「大原御幸」などの女人平家と、「祇園精舎」「壇の浦」「鐘」の計7曲の演奏と語り。「源氏物語」には、「桐壺」と「明石」の琵琶演奏と朗読が収録されている。一人の演者が、両古典を演奏と語りで表現するのは初めての試みだ。今後は「源氏物語」全54帖の朗読CD化にも挑戦したいと意欲を燃や

す。
■お問合せ インターナショナルカルチャー TEL 03-3402-2171

★Madam Shiの

中国茶サロン

Madam Shiの中国茶道蓮生流サロンがスタートした。蓮生流は、中国茶道が持つ荘厳さと格式を守った上で、西洋の持つ可憐さや華麗さ、さらに心理学や色彩学をも取り入れ、今までの中国茶道にはなかった優雅で快適な安らぎをもたらす流派。茶器の選別から、



Madam Shiのティーサロン

香料、音楽など茶のもてなし席上においての演出にも細やかな気づかいを必要とする。サロンパーティーやサロン教室での各種コースがあり、楽しいレッスンで奥深い中国茶の世界を知り、素敵な潤いある暮らしをどうぞ。

■お問合せ/お申込み 〒

650-0004神戸市中央区中山手通2丁目3-10-401 TEL & FAX 078-3392-018

http://www.madams.com 神戸元町教室

(群愛飯店本店) 西宮教室 (郡愛)

★期間限定BEAMS Outlet

OPEN!!

マリニピア神戸ポルトバザールではあの人気セレクトショップ「ビームスアウトレット」が関西で初めて、期間限定でオープン。メンズ・レディスともに魅力的な商品が大幅プライスタウン!今の季節に重宝する冬物アウターもいっぱい。この機会をお見逃しなく!シュードマルシェーフにて3月2日まで。

誕生日
ありがとう
運動



2003年の新春
おめでとうございます

宇宙は美しい

捨てて

捨てて

琵琶 一つとなり

飛天となる

これが

わたしの祈り

わたしの願い

茜の雲が

たなびき

夜が明け

鳥たちが

飛んでゆく

ああ

どんなに

世が乱れても

宇宙は

いつも美しい

愛媛在住の詩人坂村真民

さんの最近の詩です。運動

本部には、真民さんから念

願賦算誌「詩国」を毎月送っ

ていただいています。

新しい年の平和をひたす

ら折ります。U

誕生日ありがとう運動本部

〒650-8790

神戸市中央区中町通4-2-1

11

村上ビルB1

TEL&FAX 078-360-1

257

★エリーロンドン美容室

新店舗オープン

JR三宮駅北口前のベネトンメガストアビル3Fに、エリーロンドン三宮PAR T2が移転した。新店舗は、店内も広くすみずみまで新しい装いをこらす。明るい雰囲気と、なりたいヘアスタイルを確実にひとりひとりの個性にマッチングさせていくスタッフの確かな技術力と対応の良さに満足度は一層アップ。三宮の新しい顔となるサロンだ。



広く明るい雰囲気の中の店内

★芦屋倶楽部

カルテットデビュー

芦屋倶楽部カルテットは、音楽大学の学生や音楽家を中心に、オリジナルのアンサンブルを組み、楽譜をアレンジし、クラシックからポサノバ、ジャズをより気軽に楽しめるよう、ポピュラーがより味わい深くなるよう、質の高いサムシングニューなオリジナルサウンド



音楽大学の学生や音楽家を中心のアンサンブル

ドを実現している。

登録メンバーはアンサンブル、ソロをはじめコーラスやバンド、司会者など実力ある多彩な顔ぶれ。各種イベント、ウェディング、サロンでのミニコンサートに、音楽で輝く空間を演出する。

■お問合せ 芦屋倶楽部

芦屋市山手町7-21 TEL 0

797-134-0100

FAK 0797-38-119

9

★バレンタイン村から

愛のメッセージを

今年のバレンタインは、フランスのバレンタイン村から届くチョコレートのプレゼントはいかが。ハート型バレンタインチョコが、真正正銘バレンタイン村の消印付き航空便で相手に直送でき、レイモン・ペイネのかわいいイラスト付きカードにメッセージも添えられ

る。(一通につき申込金2千円) 大人向けには、バレンタイン村特製ワイン「Le Jardin des Amoureux」恋人たちの庭園「750ml 赤白2本に、村長直筆サイン入りカードが付いたセットもある(申込金1セット1万5千円) 申込金には、商品代、送料、カード代、手数料等すべて含む。2月10日前後に到着予定だが、郵便事情により配達日が前後する場合もあり。

★開運・良縁・新年を占う

本誌占いコーナーでおなじみの、笑生さんと占い師仲間が集まり、新年を占った。蜘蛛は抜け道が見える春まで我慢とか。さて今年はどうなる年のやら。今月号からは、よそおいも新たにタロットこぼれ話がスタート。心の問題・家族・職場・恋愛など、運勢の参考にしてみよう。

トアロードにできたタロット美術館では世界のタロットが120種類も集められており、実際に見たりさわったりできる。ぜひ一度のぞいてみてはいかが。

タロット美術館 TEL 07

8-334-7207



レイモン・ペイネのかわいいイラスト付きカード

■お問合せ TEL 045-4231-8639 FAX 045-4211-8223 http://www.big.or.jp/air-mail E-mail:air-mail@big.jp



笑生さんと占い師仲間

各駅の神戸歴史ウォーク(1)

神戸駅

交通史の モニュメント

田辺真人



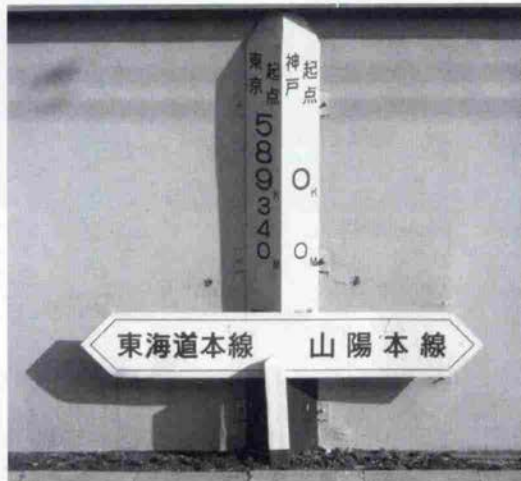
神戸の町かどに遺る歴史の跡や文化財を訪ねる連載を依頼された。そこで鉄道の駅ごとに周辺の町を考えていただく手引が書ければと考えた。東から順に歩けば西から順に下車するべきかと迷ったけれども、やはり神戸駅から書くことにした。歴史的にも神戸の鉄道の原点は神戸駅だからである。

JR西日本は神戸線とか宝塚線といった愛称を多用しているが、正式には今でも東京駅から神戸駅までの鉄道は東海道本線である。神戸駅の利用者は随分多いが、神戸駅にある東海道本線と山陽本線の境界を示す標柱に気付いている乗降客はそう多くない。下りホームの中央部や東寄りから見ていただきたい。一番ハーバランドに近い線路の脇に2メートルほどの高さの白い標柱があって「東京起点五八九キロ三四〇メートル〇二東海道本線、神戸起点〇キロ〇メートル山陽本線」と記されている。

文明開化の時代、明治7年に政府は東京・横浜間の

鉄道に続いて、大阪神戸を結ぶわが国第2の鉄道を完成した。この時、大阪・神戸の両駅とともに開業した三ノ宮・住吉・西ノ宮・神崎(今の尼崎)の各駅は、日本で最も歴史のある鉄道駅なのである。やがて東京横浜間鉄道と大阪神戸間鉄道とはお互いに延長されて明治22年に連結され、東海道本線が完成した。「汽笛一声新橋を」で始まる明治33年の鉄道唱歌は62番で「神戸は五港の一つにてあつまる汽船のかずかずは海の西より東より瀬戸内がよいも交じりたり」と歌い、63番で和田岬と布引の滝、64番で楠公と湊川、65番で東海道全線を振り返った後、66番で「明けなば更に乗りかえて山陽道を進ままし天気はあすも望あり柳にかすむ月の影」と当時の私鉄山陽鉄道(現在のJR山陽本線)への乗り換えを歌って東海道前全線を歌い終えている。

さて駅名の「神戸」だが、これはいわば古代の法律用語が地名になったようなものである。律令制度の下では土地も人も国に直属する、つまり公地公民が原則だった。その国民にある年齢になると等しく土地を与え、死後はそれを国に返させる、つまり班田収授の法である。かわりに国民は租庸調などの税を国に納めた。ところが神社の維持のために、それらの貢納品を神社に納めるように指定された家族(戸)があって、神戸と呼ばれていた。こんな神戸の住む集落は「神戸(後にかうべ、こうべと発音された)」の里と呼ばれ、地名となっていた。各地の古い大きな神社の近くによくこの地名があるのは、そのためなのである。古代から生田神社に属する神戸の集落があった。その後身の神戸村は江戸時代の地図によると今の元町1・2丁目あたりにおいて、西隣の二つ茶屋村や走水村とつながり、3つの村は西国街道(今の元町本通筋)に面する



両本線境界の標識



楠公さん正面に保持されている里程元標



湊川神社の境内にある水戸黄門像

町として描かれている。一帯は幕末開港以前から町のようになっていたのである。この3村は明治の初めには合わさって神戸町と称した。この町の西側を宇治川が流れていて、川を渡ると一帯は坂本村の田んぼが広がり、その西に(旧)湊川が流れていた。湊川の西はにぎやかな港町「神戸の津」だった。明治維新の後、湊川の西に広がる古来の港町・兵庫と、宇治川の東にあつて外国人居留地が建設された神戸の町とが急速に発展し、兵庫と神戸の間つまり宇治川と湊川の間に「神戸駅」が開設されたのである。

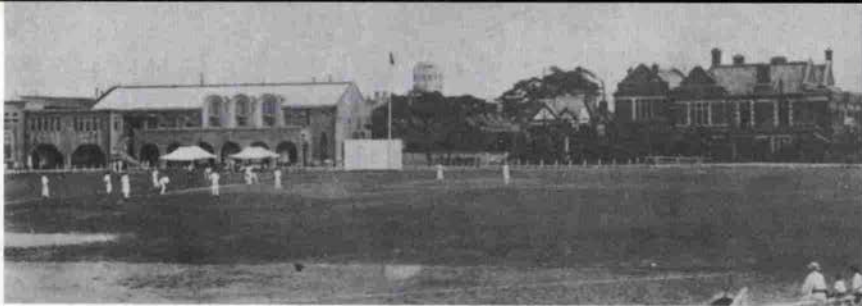
今の神戸駅東北のJR線と中央幹線道路の交叉地点は、当初から鉄道と西国街道との交差点でその西側に初めは木製の、明治43年には高さ3メートルあまりの石柱の「兵庫県里程元標」が建てられた。つまり兵庫県からの距離測定の原因とされたのである。この里程元標は今では湊川神社正門前に移転保存されている。

ところで、湊川神社は湊川の戦いで戦死した楠木正成の墓域に元禄年間に水戸光圀が墓石を建て、それらを中心に明治の初め神社が造営されたのである。今も境内の南東の一画に光圀直筆の「嗚呼忠臣楠子之墓」の墓石があり、その前には光圀像も立っている。

賑やかな神戸駅の近くでは、里程元標や水戸黄門像、東海道本線終点の標柱など一味違った神戸のミニチュメントを訪ねることができるのである。



たなべ まさひと
1947年、神戸生まれ。兵庫高校・関西学院大学文学部卒業。現在、園田学園女子大学国際文化学部教授(歴史学・比較文化論)。地域史研究で97年神戸市文化奨励賞、02年神戸市文化活動功労賞を受賞。また、ニュージージョンド学会副会長として同国も研究。01年より至聖市教育委員。「神戸の伝説」(神戸新聞総合出版センター)、「神戸の100年」(郷土出版社)、「東海歴史散歩」(辰野舎)、「ニュージージョンドの風土生活」(神文書院)など著書・監修多数。



1930年(左)KRCACと(右)神戸クラブ 中央の塔は神戸税関

四回にわたって神戸外国クラブの歴史を一応カバーしたつもりだが、初期の神戸クラブではどんな食事が供せられたのか、居留地時代の「洋食」はその後の神戸の食文化に多大の影響を与えただけに私は大いに興味を持ったが、料理に関する記録はあまり見当たらない、クラブの創設は明治二年。日本では明治五年に天皇が肉食禁忌の前例を破って牛肉を試食し、牛肉が文明開化の象徴として普及し始めた時代である。パンはイギリス人によって良質の小麦粉のパンが神戸で作ら

中村友一の Once upon a time in KOBE 神戸クラブ 5

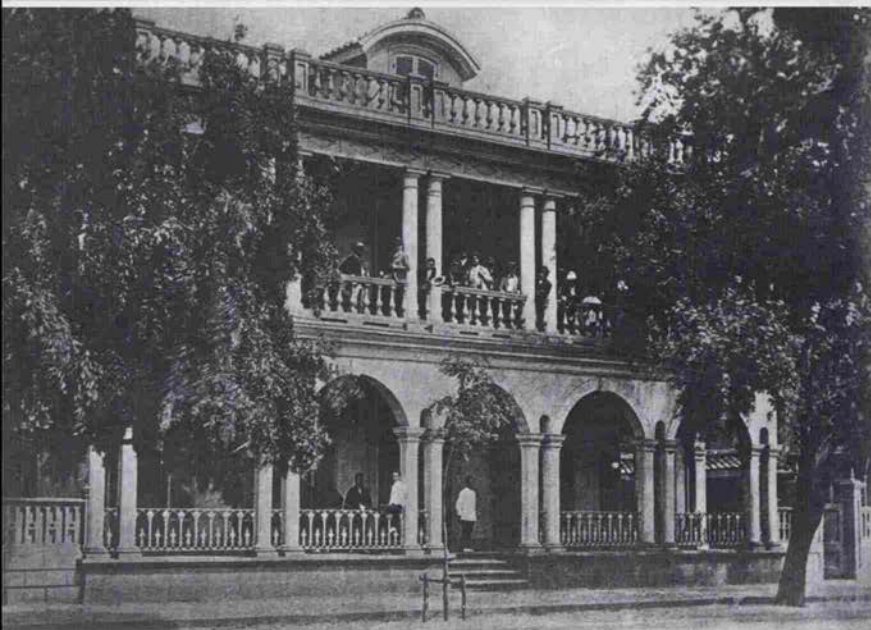
れ、ビールは明治三年に国産が生れ、ソースも英国製銘柄が神戸に初輸入された。そしてイギリス人は但馬牛の味のよさに気付いてローストビーフやステーキ等肉料理を普及させた。明治三年日本にサッカーを導入したキャメロン・シムはレモネードに因んだラムネを布引で開発した。明治十年頃には兵庫ホテルやホテル・コロニー等の外国人用ホテルも出現しオリエンタルホテルのルイ・ビゴは名コックとして評判をよんだ。英詩人キプリングはオリエンタルの料理を世界一流と絶賛し、サマセットモームも塩屋クラブを評価したが何故か神戸クラブに関する記述はない。W・ハロルドの著書には「午後には読書室で伝統的なアフタヌーン・ティーとトーストが供され、その味は他に類を見ない。ダイニングルームは壮麗なつくりで、古顔の会員が奥のテーブルに陣どるといふ不文律が厳然としていた」とあるが、思うに当時のクラブは女人禁制の男の館であり外国人の情報交換の場なので食堂よりもバーが主役であつたらしい。「バーがクラブの収入の源泉であつた」との記録もある。夕食時に帰宅しない亭主に業を煮やした奥方が何度もクラブに電話してそれを巧くあしらうのが「ボーイさん」の役目であつた。男性従業員をボーイさんとよぶ習慣は神戸クラブが発祥の地といわれる。

冒険旅行家のゴードン・スミスの日記に「クラブで臨時総会をやっていた。議題は午前一時以降のバーの伝票は赤インクでサインしその分はボーイの残業手当にあてるといふもので、総会は紛糾し革命が起きて会長が辞任した。酔っぱらいに赤だか黒だかインクの識別ができるものか」と記しているが、正にスタッグ・パー全盛の証である。ゴードンによれば当時の日本での洋食（欧風）ディナーはスープ、魚とカキのフライ、ロー

ストビーフ、プリン等が代表的であったらしい。

昭和に入って時代の流れと共にクラブは徐々に女性にも解放され、それぞれのお国柄に合った料理が紹介され、現在では国際的にバラエティー豊かなメニューが供される。昨年他界した洒落な評論家、草柳大蔵氏

1879年当時の
神戸クラブ



を案内した際、氏はラムチョップを所望し「これはほんものの味だよ」と感嘆された。震災の時、クラブは避難所として解放されたが他では握り飯が配られたのに此処ではローストビーフが出たというエピソードもある。神戸港の開港は神戸を味の点でも開港させた。多国籍外国人の集る神戸クラブは情報の交換のみならず味の交換の場でもあったに違いない。持ち込まれた多種多様の料理は神戸の風土に育って同化し、神戸オリジナルのコスモポリタンな味に進化して定着した感がある。

神戸外国クラブ現会長のフリッツ・レオンハート氏は「神戸の味が国際的である様に神戸ではユダヤ系の人とイスラム系の人と同じクラブ会員として仲良くできる。しかし今、神戸にアメリカの軍艦が入港できないのは悲しい。神戸の文化は神戸開港から生れたはずなのに」と言う。政治的に問題があるにせよ、これは穿った味方である。「神戸がグルメのみならず真の国際都市になるのはいつ？」などと考えながらクラブのバーで杯を重ねつつ私は異文化の中で活路を求めた初期の神戸クラブに思いを馳せる。当時、伝票に赤インクでサインした酔顔臙臙の異人さんは後年になって自分達が神戸の味のパイオニアになろうとは夢想だになかったであろうに。



なかむら・ともかず
一子相伝の味・京都「なかむら」の長男に生まれる。有限会社御影貿易商事取締役社長・田崎真珠株式会社顧問



岩松院本堂

北斎ミステリー 1

岩松院天井画の怪？ 中右 瑛

「しゃらくさい！」「アほくさい」を画号にした江戸の天才画人・写楽と北斎。二人の洒落は強烈だ。

その一人、葛飾北斎は、キネスブックにのってほしいほどに世にも稀なる奇人で、常識では考えられない奇行と思考の持ち主。そのせいか、北斎九十年の生涯は波乱万丈、おもしろ言動、数々のミステリーに充ちている。

百姓か、武士か？ その出生すら不明。生涯九十三回という転居魔。三十のペンネーム改名狂。ケンカ早く強情、尊大、人を喰う。それに度々の謎の旅行。

なかでも、晩年の信州小布施旅行は奇っ怪だ。高齢で、しかも中風の北斎がナゼ？ 日本の僻地といわれる信州にまで長旅に出たのか、そして小布施にのこる数々の足跡。いままこの地に北斎最大の絵が残されているという。

筆者はその絵を尋ねて信州小布施へと発った。

年の瀬も押し迫ったある日の早朝、東海道新幹線・新神戸から「ひかり」に乗り、東京で長野新幹線「あさま」に乗り換え、終着駅・長野に着いた。この時点で、神戸を経って七時間の旅。目的地はまだまだ先だ。

長野は善光寺の門前町で、江戸時代いやつい最近ま

では善光寺まじりの善男善女で賑わった。いまはその賑わいは昔ほどでもない。

長野電鉄に乗り三十分余り、目的地の小布施は夕暮れ近く空はどんより。雪がちらついていた。そこからタクシーでおよそ二十分、いまは自然公園になっている小高い雁田山の麓に、ひっそりとたたずむ梅洞山岩松院。そこに目的の北斎の絵があるのだ。

岩松院は小布施では最も大きな寺院で、開祖は古く文明四年（一四七二）と伝えられる由緒ある寺院である。

賤ヶ岳、関ヶ原合戦で勇名をさせた武将・福島正則公ゆかりの寺で、幕府の謀略により当地に国替えされ、悲運を嘆きつつ世を去った正則公が境内にある靈廟に祀られている。少し陰気に感じられるたたずまいは、そのせいであろう。

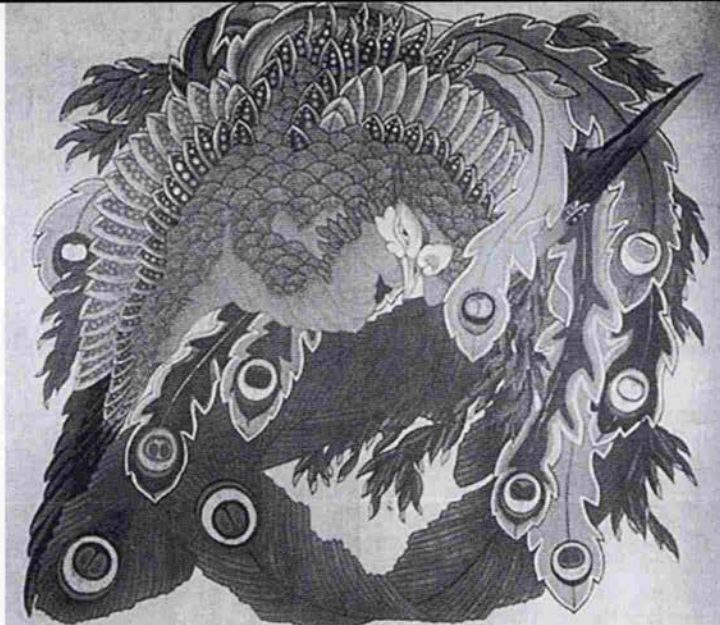
寺院は、たび重なる火災ののち、天保二年（一八三二）に再興された本堂がある。この辺りは冬は雪深く、建物はすっぽりと雪に埋まる。寺の大屋根は急斜面の銅板屋根で覆われ、雪国らしく寒々しく見える。

この本堂に、北斎が描いたと伝えられる二十一帖（三十六平方米）の大天井画「鳳凰ノ図」が燦然と輝

いているという。私は見る前から歴史的な名作に出会える喜びに全身がふるえる思いだった。

天井いっばいに華麗な色彩の鳳凰が大きく描かれ、見る者を圧倒する。不死鳥の伝説がある鳳凰は、今にも羽はたくかと思える程にダイナミックな構図で、その眼光は鋭く八方を睨んでいる。「八方睨みの鳳凰」と呼ばれるゆえんでもある。

赤・緑・黄など強烈な色彩は、百六十年も経っているのに、いま描いたばかりに輝いている。この極彩色を保つには、高価な絵具が使われた。



大天井画「鳳凰ノ図」

植物油性の絵具に、中国より輸入された辰沙、孔雀石、鶏冠石などの高価な宝石の粉末が混ぜられ、鏡天井の桧板に直接に塗り込まれているからだという。

鏡天井とは、桧板に描かれた天井画を実際の天井に二重に張り合せたものをいう。加えて、金箔四千四百枚が使用され、贅をつくした天井画である。

さて、この天井画にはミステリーがつきまとう。なにしろ今に残る北斎の大作であるばかりか、そのうえ最晩年の作と伝わっている。

寺の記録によれば、小布施に北斎が四度も訪れたという。八十三歳（天保十三年）、八十五歳、八十六歳、八十九歳。この天井画はナント！ 死の直前の八十九歳（嘉永元年・一八四八）の作と伝わる。

旅行好きとはいえ、たびたびの遠出。江戸から二百五十キロもある信州への山中路。途中、難所の碓氷峠に出没する山賊の恐怖。道中六泊五日は決して楽な旅ではない。しかも中風を患った高齢の北斎が、である。果して北斎は、この小布施までやって来たのであるうか。また、それ程までして小布施詣でをさせた北斎の動機は、一体何だったのか。

その夜、湯田中温泉で泊ることになった私だが、あの天井画が脳裡に焼きついて離れない。感動とナゾ…。興奮に酔い、その夜はどうとう寝つけなかったのだ。

■中右 瑛（なかつ・えい）

抽象画家。浮世絵・夢二エッセイスト。一九三四年生まれ、神戸市在住。行動美術展において奨励賞、新人賞、会友賞、行動美術賞受賞。浮世絵内山賞受賞。半どん現代美術賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞など受賞。現在、行動美術協会会員、国際浮世絵学会常任理事。著書多数。

自己紹介

浅黄斑 絵・犬童 徹

えー、浅黄斑と申します。本名じゃありません。ペンネームであります。でも、これがなかなか、すんぱりとは読んでもらえないんだな。

鎌倉に住む書家の小山渚さんなんぞ、とあるパーティーで会うまで、わたしを中国の人かと思ってたらしい。

神戸在住の推理作家と仄聞し、陳舜臣さんをイメージしたせいかもしれないけど、「センコウハン」と読んでにちがいないね。相手が着物の似合う美人だったもんで、「いやあ、そうじゃなくて、実はですね」なんてニコニコしながら、わたしはペンネームの謂れについてのを、ルル説明したんですけど。(我ながら情けないが、なにしろ美人には甘いもんで)

それはともかく、ミナト神戸を代表する洒脱な、しかも歴史ある『神戸っ子』に、こともあろうに「みだらやわ」なんてタイトルで、おそらく眉をひそめる読者もいるかもしれない、などと兢兢々としております。

(我ながら情けないが、なにしろ小心なもので)
で、以下、言い訳を兼ねまして、ペンネームの由来やらを書き連ねる予定。

さて、まずは読み方ですが「アサギ マダラ」と読みまして、これはバタフライ、すなわち蝶々の名前なんだ。初夏には六甲山にも出てくる十センチ近い美し

い蝶で、春から夏にかけては北へ向けて、そして秋には南に向けて、と長距離移動をすることで有名な蝶なんです。で、これを漢字で書くと浅黄斑ということになるんだけど、先ほど書きましたように、なかなか正しく読んでもらえない。

浅黄っていうのは色の名前で、緑がかかった淡い藍色のことです。浅葱とも書きますが、これは薄いネギの葉の色彩を現すそう。

この浅葱色は、江戸の時代に大流行して、猫も杓子も着物の裏地に使ったそうです。しかしながら、流行がはずれ廃れるのは、江戸の当時も現代も変わらない。特に、大都会である江戸においてをや。ところが地方から江戸表へ参動してくる武士たちは、いつまでたっても、判で捺したように浅黄色裏地のままだったようです。その結果、江戸っ子たちは、田舎侍のことを「浅黄裏」と呼んでからかったんです。はっきり悪口です。

当時の川柳に、こんなのがあります。

「行水の分かる浅黄は垢が抜け」

行水というのは、今や死語ですな。タライに湯を張り、庭先で美女が体を洗う。なんとも艶めかしい情景で、浮世絵などにもよく描かれている。しかしながら、



この川柳にある行水は違った意味を持っている。すなわち、エヘン！遊里語で、女性の月の障りを意味するのである。たとえ指名したって、客は断られるわけで、隠語、というやつですな。つまり野暮天の代表みたいな浅黄裏でも、この隠語の意味が分かるようになれば、江戸の水に馴染んで、少しは垢抜けた、ということを知っているのです。

「行水にこりて浅黄は釜を買ひ」

なんてのもありますな。なるほど、オカマには、ツキノモノなど、ありません。

さてわたしは、自慢じゃないが酒好きで、ときどきは夜の巷にさまよい出ます。で、ボトルのキーブなどをやるわけですが、そのとき、名札に記入を求められます。そこで「浅黄斑」と書きます。間違えても「小泉純一郎」などと書かない。で、当然の結果といひましようか、初見のお嬢さんに、なんと読むのかと尋ねられる。「浅黄」の意味をまず説明し、次に「まだら」に取りかかるんだけど、最近の若い人は、そもそも「まだら」ってことを知らないんだね、これが。美女には優しいわたしですが、だんだん面倒になってきた。

話は、ぴよんと跳んじやいますが、昔、釜ヶ崎で互いにガンを飛ばし合って知り合った画家がいます。総髪、鼻髭、顎鬚にサングラスという、見るからにヤクザそのものという風貌で、そのときこちらも、白のスーツ上下にダンヒルのサングラスといたっていた者たちだったから、互いに「なんだ、この野郎」って思ったわけですが、このヤクザみたいなのは実は、国際的な賞を沢山もらって、ベネチアの名譽市民だの、なんだの、といった絵描きさんで、名を番洋といます。一時期、よく一緒に銀座などを飲みまわりましたが、わたしが

ママに「アサギマダラです」と自己紹介すると、彼は、すかさず「バンミダラです」と続けるんですね。朝にかけて晩のシャレで、二人で「朝晩コンビ」などとヤニさがつておりましたが、酔っぱらいなど、この程度のものでした。

で、ボトルの名札に戻りますが、だんだん面倒になった結果、ふっと思いつき、あるとき「浅黄みだら」と書いた。「まだら」は分からなくても、「みだら」だと、みんな知っているんですよ。現在、この名札のボトルがどのくらいあるのか、わたしにも分かりませんが、これも、これが、思わぬ結果を招くとは、思いもよりませんでした。

ある日のことですが、北野坂を歩いていると、突然、うら若い女性が、わたしを呼ぶではありませんか。それも、透き通るようなソプラノで、はっきり大きく、こう呼んだのです。「みだらセンセーっ！」って。

恥ずかしかったなあ。

ちなみに、その女性は、特に名を秘しますが、北野坂にある「ファジー」というラウンジの女性でありました。そこでわたしは、とある長編書き下ろしの中で、殺される役はこの店のチーママを、伊藤のり子というママを、やり手のいじわるママに、それぞれ実名を使って登場させ、しかもサイン会の節には、何十冊と大量に売りつけることで復讐を果たしたのであります。

こうした復讐にもかわらず、「ファジー」は、つぶれるどころか、いよいよ商売繁盛で、名も「ファジー」とリニューアルして、このたびは北野坂のビル二階から、地階の広いフロアへと引っ越し、さっそくわたしは、行く先々で、「俺に殺されると、商売繁盛、間違いないよ」と与太を飛ばしているのです。

失敗自慢

出石アカル

カットー菅原 洗人

「またやっちゃいました」

入ってくるなり大きな声で失敗談を始めるのは、山本さん。カラカラと、矢車が回るような乾いた声を立てて笑う人である。うちでは「山本っちゃん」と親しみを込めて呼んでいる。

この店に来るようになってもう十年近くになる。最初は、先輩の営業マンに連れられてやって来たのだ。当時まだ見習い中で、どことなくおどおどとしていたものだ。童顔ではあるが、今では自信に満ち、立ち居振る舞いにも切れが出て来た。ケータイでの商談も鮮やか。相手が良かったのか、結婚してから身につけるもののセンスも良く、髪の手入れも行き届いていて清潔感あふれる男性である。

ところがこの人、失敗談には事欠かない。例によってカラカラと笑いながら話してくれる。



「出張で東京へ行くことになってたんです。ほんでケータイで話しながらホームに出たら、そこに丁度、列車が「ハイどうぞ」と入って来たもんやから、ひょいと乗ってしもたんです。ドアが閉まって動き始めて「次

はオカヤマ、次はオカヤマ」言いよるんですわ。ほく思わず「回れ右！」ゆうたけど、ゆうこと聞いてくれませんねん」

この程度の失敗談はよくある話である。「もっとオモロイのんないのん？」と尋ねると、「なんほでもありますよ」と彼、むきになるのが可愛い。

「上司と飲んでて、宝塚から夜運うに電車に乗ったんです。なんか知らん今日の電車ゆったりしてて乗り心地ええな思て、座ったらすぐ寝てしもて。気がついたら誰かが『もしもし』ゆうて起こすんです。どこまで行くんですかて聞きよるんですわ。ほくしばらく何が起こったか分かりませんねん。ハッと気づいて『三田まで』ゆうたんです。そしたら、ここトットリです。四時すぎてますねん。ほく思わずその乗務員に『なんでもっと早よ起こしてくれへんの！』て言いました。この前おやじと飲んでてその話になったんです。おやじも昔よう乗り越して、ほくしょっちゅう夜中に篠山まで迎えに行かされてました。今度はおやじに勝つたな、思てたら、おやじニヤッとわろて、実は俺、出雲まで行ったことがある、て自慢しよるんです。今まで内緒にしてたくせにですよ」

乗務員に、もっと早く起こしてくれと言うのもおかしな話だが、わたしは、彼の父親の心理に興味がわく。それまでは恥ずかしいこととして自分の胸の内に隠していたものを、息子が、父親に勝ったと思て話した失敗談を聞いて、自分の方が上だと自慢するその心理

に。父子てええなあ、人間てええなあ、と思うのだ。

わたしは調子に乗って、「その程度ではオモロくない、ついでにもっと白状しい。電車以外にもあるやろ」とそそのかす。ほんならこれ、と行って話してくれたのが次の話。

「スナックでよおけ飲んでしもて。金払お思たら財布無おなっとって。なんぼ探してもありませんねん。正月やったからおけ入れとったんですわ。ほんで届いてないか思て交番に行つたんです。これこれしかじか、ゆうて説明してるうちに、おまわりが「ところであなた、ここまでどないして来たか？」て聞きよって。「車で来ました」ゆうたら「いっぺんこれ吹いて」言われて飲酒運転で捕まっしてもたんです。ほんでほくゆうたんですわ。「それとこれとは違うでしょ。ほくは財布のことで来たんやから」ゆうても堪忍してくれへんのですわ。ほんま警察は被害者の味方にはなってくれへん。追い打ちかけよってからに。正月からさっぱりワヤですわ」

最近の彼は、この不景気の中でも営業成績を伸ばしているらしい。解る気がする。人は、鼻につく自慢話よりも、失敗談の方に親しみを覚えるものなのだ。

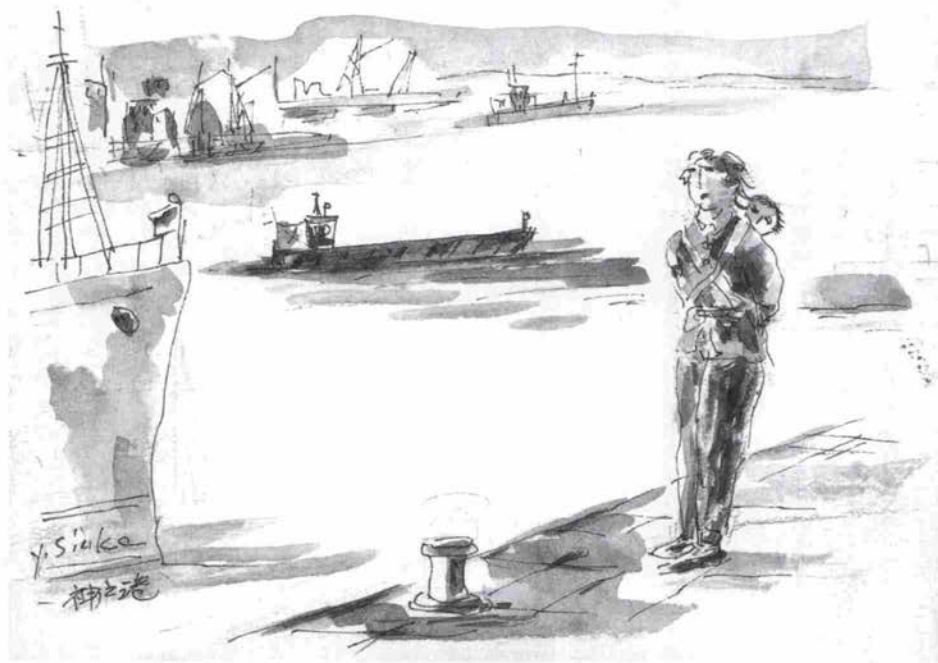
いずし・あかる 43年兵庫県生まれ。「風媒花」「火曜日」同人。兵庫県現代詩協会会員。詩集「コーヒーカップの耳」(編集工房ノア刊)にて、2002年度第31回フルメール賞文学部門受賞。

■新連載小説／1

神戸はしけの女

岡本真穂

絵・新家保夫



兵庫県は、東西約百十km、南北約百七十km、面積約八千四百平方kmの広がりを持ち、人口約五百五十八万を数える。

県域のほぼ中央部を中国山系が横切り、日本海側を山陰、瀬戸内海側を山陽とに分けられ、山陰は、古代行政区域で但馬国と丹波国にあたり、また山陽は播磨国と摂津国に、さらに、明石海峡を隔てて淡路国へと広がる。この五国が明治の初期に合併、編入して今日の兵庫県が生れた。気候、地勢、産業、歴史、文化など、地域によって多彩な顔を持ち、それぞれの文化を育てて来た。

古代をもう少し紐解くと、日本は八世紀の初頭まで中国の隋、唐の諸制度をあいっいで導入したが、やがて日本になじみ、独特のものを生み出していったようである。中でも法律や制度面で、飛鳥浄御原令、大宝律令、養老律令の整備は国家を形成する面では大きな役割を果し、法治国家としての体裁を整えることとなる。都城制、国郡里制、「古事記」「日本書紀」「風土記」の編纂、仏教文化の興隆など、まさに古代文化の華開いた時期でもあった。

「日本書紀」は六四六（大化二年）改新の詔の記事を伝えているが、信憑性についてはさだかでないところには書いてあるが、第二条で畿内の四至の範囲の規定のある事はよく知られている。畿内は西は明石の橿淵に限るとされ、その地は現在の須磨区一の谷から垂水区塩屋付近の海岸に此定されており、畿内と山陽道との境と考えられている。瀬戸内海を播磨灘から東進し、明石海峡を経て、この明石の橿淵を通過すると、ちぬの海と呼ばれた大阪湾が開け、はるか生駒連山をみい出した時、大宮人の心はどのようなようであったらうかと思わせられる。また明石は、早くから明石の門、明石大門と呼ばれ、都と鄙の境として、柿本人麻呂をはじめ多くの歌人に詠み込まれている。県下の海上交通は、難津を出発河尻泊、大輪田泊を経て、明石大門を通過、魚住泊、韓泊、檉生（室津）

から遠く下関への西行ルートを形成、海の新幹道路として発展した。特にこれらの五港は摂津五泊としてにぎわい、以降、日宋、日明、南蛮、日朝貿易の拠点のひとつとして栄えた。

中世に入ると、各地に武士国が発生し、十二世紀には源氏と平家の二大武士国が成立した。兵庫県もこの源氏の揺籃の地である摂津国多田荘と、平氏の全盛期を飾った福原の別業がある。摂関と結んだ源氏に対し、院政と結び台頭した平氏は、清盛のとき全盛を迎えた。清盛は保元の乱後播磨守から太宰大貳に任せられ日宋貿易の利に着目、摂津国福原荘を領有すると大輪田泊を改修し、日宋貿易の拠点としている。その後、平治の乱を経たのちの清盛の栄達はめざましいものがあり、ついには太政大臣の位まできわめ、栄華を誇った。しかしやがて時の白河上皇と対立、上皇を幽閉して安徳天皇を擁立、そして一一八〇（治承四年）福原に遷都をはかった。しかし新都造営は遅々として進まず、関東の源頼朝の挙兵、比叡山の僧徒の京都還幸運動などによりついに帰京、福原新京は幻の都に終わってしまった。その後諸国の源氏のいっせい蜂起が続き、平氏は安徳天皇を奉じて西国へ逃れたが、一の谷の合戦、屋島の合戦を経て壇の浦の戦いで壊滅した。「平家物語」に描かれた平家の公達の哀愁をおびた物語は石砂青松の須磨の海岸とともにその後長く人々の心の奥深くとどめられた。

近世に入り豊臣勢力は一掃されかわって徳川譜代の大名がいっせいに封じられた。尼崎、明石、姫路、篠山は四国の備えとして特に重要視されたことから、県域への大名配置は小藩分立の様相をみせ、目まぐるしく変わり、十八世紀になってやっと、安定期を迎えた。それを物語るように大名の居城として、姫路城、明石城、篠山城など開幕当初あいついで築城されたが、それにともない各地で城下町の建設が盛んに行われ封建都市の興隆期となった。

経済的には江戸・大阪が一大消費地として発展をとげるのだが、その近郊に位置した県域では、早くから商工業の発展をみた。摂津、播磨における綿作、赤穂の塩業、伊丹の酒作りは全国の銘柄として流通し始めた、十八世紀を過ぎると灘の生一本と水車による絞^{ひねり}り油業が盛んになり、姫路の木綿、龍野の醤油、三木の金物、豊岡の杞柳^{かき}が大きく発展した。いっぽう、財政難に苦しみ続けた各藩政府は、商品経済の発展にともないあらたに専売制を実施したり、産物会所制度を発足させるなどして、その対応をはかった。十九世紀になると都市部の大商人に対して在方商人など新興商人の出現が目立ち経済市場は大きく変化していった。



ペリー浦賀来航にみるように欧米諸国の接近は、日本国内に開国論、攘夷論を沸騰させ、激しい対立を招いたが、列強諸国の懐柔と強制、脅迫外交のもと、幕府は鎖国を解き、開国へと踏み切った。畿内に於いては、ロシアの軍艦の大阪湾侵入以来、海防は国の大事となり、神戸に海運操練所が開設されたほか、海岸線一帯に於いて砲台が築かれている。一八五八（安政五年）列強諸国との間に修好条約が締結され、兵庫港が開港される五港のひとつとして決定した。この事について朝廷は激しく反発したが、一八六七（慶応三年）兵庫津近辺の神戸村に築港、神戸港として世界にその窓を開いた。

近代から現代へ明治維新を果した新政府は、行政区画の再編に着手し数度の変遷を経て一八七六年現在の兵庫県を誕生させ、神戸港を開港場として欧米列強諸国に対してその強力さを見せた。

神戸港の貿易は開港直後の戊辰戦争の影響で余り動かなかったが、戦場が東北地方に移ると活発化し始め、茶、生糸、水、油などの輸出が始まった。輸入品では、文明開化の波に乗り、靴、時計、カメラ、ガラス、石油など雑貨が中心であった。一八七七（明治十年）頃になると、輸出品として、マッチ産業が急速にのび始めた。明治二十年の後半には全国の九割までが兵庫県で生産され、その市場が東南アジアから世界に及び、大正の頃には生産高の三割のシェアを誇ったという。神戸の発展はこのようにマッチ工業から発達し、やがて紡績工業、ゴム工業を経て造船工業などの重工業へと着実な歩みを見せた。都市の産業を支えていた低賃金の労働者の生活も悲惨をきわめていたが、阪神間の工業化が進むなかで、工場労働者の組織として（大正六年五月）関西で最初の友愛会が結成され、その頃米国から帰国した、賀川豊彦によって強力な社会勢力へと成長していった。

大正二年八月聚楽館開館、大正五年海運ブームが起る。大正九年阪神

電車、梅田・神戸間開通、大正十三年三月、神戸タワー開業、大正十三年四月湊川公園の音楽堂完成、大正十五年二月、神戸市内電話自動交換となる。同七月、三越神戸支店開業、大正から昭和へと神戸は港町として栄えていった。

みなと神戸の神戸は、生田神社の神戸、つまり神社の経済を支えた住民という意味を持つらしく明治二十二年この名称をとって、神戸市が生まれた。神戸は現在の西は須磨から東は東灘までを指すのではなく現在の中央区と兵庫区南半をいい、面積は二千二百二十八平方km、人口は十三万四千七百人であったという。現在では人口は十倍に増え、埋立地を含む程その面積も増大していった。

はしけの女の主人公大川とみも、夫順一も四国の小さな島から都会という憧れの地、神戸への出発でもあった。

順一 昭和七年生れ、とみ十年生れ、順一二十五歳の時からこの物語は始る。

参考文献

写真集神戸一〇〇年

兵庫県の歴史散歩

収録港湾労働神戸港

神戸水上警察百年のあゆみ

他



岡本真穂（わかもと まほ）

詩人、関西文学同人、関西詩人協会会員、神戸異分野交流会会長、著書「詩画集 花野」「御影」。

愛読者

サロン



★9月号加藤隆久氏の神戸文学館新設の提案、まさに至言です。私の本籍は東京・世田谷ですが、そこには文学館があり、竹久夢二、岡昇平、海野十三、横溝正史、賀川豊彦、遠藤周作等、神戸ゆかりの文学者がぞろぞろ、『世田谷ゆかり』ということと展示されています。これらの人々の多くは、ただ世田谷に住んだだけです。数多くの文学者が生まれ育った港町神戸は文学館を持つべきです。持たねばなりません。横浜や小樽では、すでに立派な文学館を持っています。ぜひとも実現を。(小平市・植村達男)

★神戸っ子楽しく拝読しました。神戸への愛情を感じる誌面の連続でした。新しいチャレンジの成就を祈念申し上げます。(東京都・馬淵茂樹)

★居留地の風景は大切に後世に伝えてゆきたいですね。先々月、大阪の建築物ツアーで、大阪北浜〜本町にかけ

ての近代建築の内部をたくさんみました。どこの建物も大切に使われていて、たいへんうれしい気持ちになりました。神戸にもまだたくさんいい建物が残っているのですから、何とか残してゆく道を考えてくださいね！ところで塩屋の異人館俱樂部の建物が壊されてしまったってご存知でしたらちょっとショックでした。(灘区・中西正)

★神戸の音楽シーンやARTシーンを盛り上げるような特集をいっぱいおせしてほしいです！神戸で活躍している人のインタビューみたいなものとか。(中央区・櫻絵美)

★「小磯展」のチケット有りがとうございます。先日、行って来ました。三宮から六甲アイランド行のバスが有るんですね。安くて便利でした。ペイシエラトン前から歩いた落ち葉の道も良かったですよ。さて、見るたびに好きな絵が違うのもおもしろいですね。今回は明るい絵が良かったのは、かえって心が少し寂しいからかも。なんて。こんな時は西洋風の広いお部屋での

んびりティータイムが良いですね。せめて、本誌を読んでいる間は、そんな気分になれました。さて、1月号から本誌が以前の大きさになるそうですね。私も少し前から、チョット無理しているのではないかなあ、とか前の大きさの方がタウン誌らしいかなあ、とか思ったりしていました。これからも微力ですが、応援出来たらと思います。これからも頑張ってください。(長田区・内山清美)

★神戸が好きで、外出という山を下り阪急電車で神戸です。私のまだまだ知らない古今の神戸を知る為の、買物、観劇のハンドブックです。座談会を楽しんで読みました。(西宮市・奥村尚子)

★結婚して十二年、今年こそは2人でクリスマスは外で食事をしようと考えておりましたところ、「TAO」様のご招待プレゼントの記事を見てさっそく応募いたしました。あたればよいのですが。今年こそは「神戸っ子」に紹介されているところで2人きりで妻とすごしたいと考えています。

食事のあとは映画など：(三木市・稲岡礼介)

★神戸のすまい特集①②③④⑤⑥それぞれすべて興味深く拝見させていただきました。すまいは時代とともに変わっていくのでしょうか。(明石市・片岡寿美子)

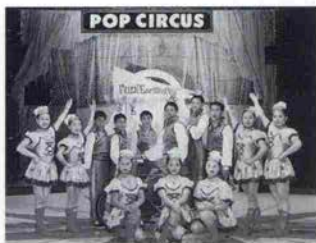
★4年前まで神戸に住んでいた私としてはなつかしい気持ちでいっぱいです。大好きな神戸、又帰りたいです。現在アグリライフに興味があります。庭に少しの野菜を植えて収穫を子供と共に楽しみたいと計画中です。神戸市の西区へもお芋掘りやぶどう狩りと毎年体験に行っていますが、地引き網も是非みたいです。(明石市・前川里香)

★「神戸っ子」を開く度に、私には新しい驚きと懐かしい思いとが致します。幼い頃よく行ったレストランの名前を十一月号で見つけました。「MAP」も何度も眺めています。新年号はどんなステキなマガジンでしようか。遠き空より皆様の御活躍を御祈り致します。(東京都・西垣武子)



冬の乗鞍は大自然がいっぱい

3 乗鞍観光
 (株)「無料」
 日券プレゼン
 ト係」まで。
 締切は2月10
 日。お問合せ
 Ⅷ 02631
 931264



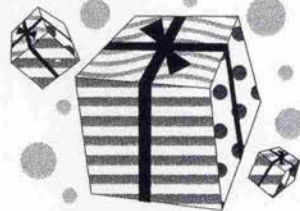
ダイナミックな演技は見応え充分

有馬の名物湯、金泉が染しめる外湯「金の湯」と「銀の湯」「太閤の湯殿館」の共通入館券(1000円)を5組10名にプレゼント。「金の湯」は昨年再オープンしたばかりで、有馬温泉のランドマークともなるように、外観は大正時代の建築を意識した。湯本坂の分岐点に建ち、周囲のまちなみにとけ込んだ情緒あふれる外湯。古来から由緒ある元湯として歴史を刻んできた名湯で優雅なひとときを堪能できる。

★信州乗鞍高原
 無料一日リフト券
 乗鞍高原温泉スキー場は、全長1・5キロのダウンヒルコース、ハーフパイプ、エアパーク、イーजीークロスコースなどバリエーションに富んだコースマネジメントに加え、安心して子供たちも楽しめるキッズパークをオープンした。スキーもしたいけど温泉も楽しみたい、温泉も楽しみたいけどちょっとスキーもしてみたい、そんな方にお勧めの

スキーパークだ。3月2日はダウンヒルスラローム大会(コース全長1・5キロの大会転競技)、3月21日は乗鞍ドリフトX(全てのスノーブレイヤーで競うジャンルなしの楽しいクロスゲーム)などイベントも予定している。この冬乗鞍の大自然を満喫してみたいかが。このスキー場の一日無料リフト券を5組10名にプレゼント。応募はハガキか封書で〒390-1151長野県南安曇郡安曇村4294-

プレゼントメイト



■プレゼントメイトへのご応募は...

ハガキ・FAXに、希望するプレゼント名・郵便番号・住所・氏名・年齢・職業・電話番号・今月号の感想を明記の上、下記宛先にお送り下さい。なお、商品の発送をもって発表にかえさせていただきます。応募宛先〒650-0001 神戸市中央区下山手通2-13-3建創ビル401(有)月刊神戸っ子プレゼント係

TEL. 078-331-2246

FAX. 078-331-2795

★ハートフルでスリリングなポップ・サーカス

今年開園10周年を迎える神戸市立フルーツフラワerparkで、3月1日から5月5日の約2ヶ月「ポップ・サーカス神戸公演」が開催される。ゲートをくぐりテントの中に一歩足を踏み入れば、そこは夢の世界。光の星がきらめき、世界のアーティストたちが、幻想の世界に導いてくれる。この公演のチケットを10



かわいい共通入館券

組20名にプレゼント。コミカルなクラウン達や、中国雑技団の少年、少女12人が登場するサイクリングショーなど、楽しくてエキサイティングな心に残るショーが期待できる。締切は2月10日。

★ゆらり有馬温泉めぐり

枯れたものたちの詩
〈女のいる風景〉2002
116.7×116.7

素描しくらめん
〈女のいる風景〉2002
51×42



新しい表紙について

500号記念号の発行を契機として 月刊神戸っ子が昔の小さなつかしい形にもどるといふ私も賛成である

それと同時に表紙の表現も少し 変えてみようということになり 従来のタブロー一点主義のスタイルをやめて 私の今まで制作した作品を部分的にトリミングしたり ダブルイメージ化しながらコラージュとして構成することをこころみることにした

今回も上記の枯れたものたちの詩〈女のいる風景〉2002と素描しくらめん〈女のいる風景〉2002の作品をトリミングしコラージュすることで表紙にしてみた 自分の作品を自分がコラージュすることは あまり実験したことはないが それだけに表現に意外性が生れることを期待して 私にとっても不思議な美しい世界を自分の絵を組み変えることで造形をこころみそして見る人を楽しんでもらえる表紙になってくれればと 毎号いろいろな工夫を織りなして見たいと思っている

2003年元旦 石阪 春生

★42周年を迎えた月刊神戸っ子にいろいろのお世話いただいた方々

田辺聖子	佐野連策	米田定蔵	岩間瀧夫	嘉納邦子	園田正和	野澤太一郎	松井高男
陳舜臣	澤田勝寛	渡辺二笙	稲田勝巳	加納勝	瀧川博司	羽田悦子	南和恵
佐藤廉	白石弘子	青木重雄	樺木茂男	川上勉	田崎俊作	橋本一豊	宮崎幸三
森實勉一	島京子	荒川克郎	上島達司	川瀬喜代子	龍口篤夫	畑崎廣敏	村松友視
浅黄斑	白坂能朗	有澤武	鶴殿麻里絵	嘉本禎夫	坂東基宏	坂東慧	元永定正
新井満	新谷琇紀	安藤忠雄	内田健司	上林英一	筒井康隆	坂野博子	米花稔
石阪春生	武田則明	浅木幸雄	内田邦子	木口衛	中内功	東村衛	森美代子
今井啓介	田中國夫	浅木隆子	馬野英子	木下章夫	中内力	福富一	百崎俊郎
鶴殿ようこ	中村友一	天野桂子	榎本重夫	小室豊允	中野典子	福原初子	矢田二郎
榎本靖子	永田朋	石井亮一	大庭浩	上月倫子	永田典子	中野康	山田弘
王柏林	中西勝	石野桂子	岡田美代	雀部昌吾	長澤昭	藤田浩司	大和久芳
大崎泰三	林五和夫	井戸敏三	奥村孝	雀部虎四郎	灘本唯人	藤間莉佳子	行吉哉女
岡本真穂	藤本ハルミ	市野弘之	小田俱義	笹山幸俊	長浜リツ子	藤本統紀子	吉島淑子
緒方しげを	望月美佐	井植貞雄	鬼塚喜八郎	佐藤純子	成瀬香梅	藤原明子	蓮明秋
大木本美通	松本幸三	伊庭文子	貝原六一	下村俊子	難波還	星住輝子	若林輝雄
加藤隆久	森本泰好	伊庭文子	柏井健一	霜寄敏文	西村功	宝地院	若柳吉金吾
北大路楽園人	安水稔和	石野順子	加藤義雄	末次攝子	西崎敬四郎	堀郁子	神戸青年会議所
小島知光	吉田泰巳	市村礼子	嘉納毅六	妹尾美智子	新野幸次郎	牧冬彦	神戸商工会議所
榊晴夫							神戸百店会

(敬称略)

